

病害虫発生予察情報

2月月報

平成 19 年 3 月 23 日
東京都病害虫防除所

1 気象概況

2007 年 2 月	気 温						降 水 量 (mm)		日 照 時 間 (h)	
	最 高		最 低		平 均		本年	平年比(%)	本年	平年比(%)
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差				
上旬	13.5	4.3	1.3	2.1	7.5	3.4	0	0	73.1	117
中旬	11.8	2.1	2.5	2.3	7.0	2.1	43	170	61.1	102
下旬	12.4	2.6	2.0	1.5	7.4	2.3	1	5	63.9	126
平均	10.3	3.0	1.9	2.0	5.5	0.8				
合計							44	78	198.1	114

1) 観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所

2) 平年差(比)：準平年値(1979～2000年の平均値)からの差(比)

気 温：月を通じてかなり高かった。

降 水 量：上・下旬は少なかったが，中旬は多かった。

日照時間：上・下旬は多く，中旬は平年並みであった。

<天候概況>

上旬：冬型の気圧配置や高気圧に覆われることが多く晴れの日が多かった。

中旬：高気圧と低気圧が交互に通過したため天気は周期的に変化した。

下旬：高気圧に覆われることが多く晴れの日が多かった。

2 作物生育概況

(1)野菜類

葉菜類 施設におけるコマツナの生育は順調で気温が高めに推移したため、収穫が 10 日から2週間程度早まる傾向であった。トンネル栽培のホウレンソウについても、同様に生育は早まった。

ウドの軟化栽培では根株からの萌芽がやや不揃いで、収穫物の揃いもやや劣る傾向であった。

果菜類：トマト等の果菜類やエダマメの苗の生育は概ね順調であった。促成、加温半促成のトマトや促成イチゴでは順調な生育を示している。

3 病害虫の発生概況

(1) 野菜の病害虫

トマト(施設 抑制)

灰色かび病	< 並 >	発生は平年並みであった。
葉かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
オンシツコナジラミ	< 並 >	発生は平年並みであった。
タバココナジラミ	< 並 >	発生は平年並みであった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

コマツナ(施設)

コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

ホウレンソウ(施設,露地トンネル)

べと病	< 少 >	発生は少なかった。
ケナガコナダニ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

イチゴ(施設)

灰色かび病	< 並 >	発生は平年並みであった。
うどんこ病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハダニ類	< 並 >	発生は平年並みであった。

(2) 花きの病害虫(施設)

花き共通の病害虫

灰色かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

(3) 島しょの病害虫

大島: アシタバでさび病, ブーバルジアでコナジラミ類の発生が多かった。

テレフォンサービス

042(525)8407

インターネットの防除所ホームページ

<http://www.jpnp.ne.jp/tokyo>

病害虫の発生予察情報,発生状況,防除方法
などをお知らせしています。